

「腹ペコ中学生」

淵中学校

大塚

広翔

僕はお米が大好きです。幼い頃から朝食な

どはお米が多く、パンが食べたいとよく言っ

ていました。昔はそんな風に文句を言っ

いた僕ですが、今ではお米が大好きです。

僕がお米を好きになつた理由の一つは、炊

飯器を変えたことです。新しい炊飯器が届い

た時、正直ほとんど変わらないだろうと思っ

ていました。炊飯器を変える前も充分お米が

好きでしたが、新しい炊飯器で炊いたご飯を

食べて衝撃が走りました。粒立ちやお米の甘

さが引き立って、格別に美味しかったの

です。

炊飯器が変わったことはもちろん、部活で

たくさん運動することもあり、いつもより多

めに、お米をよそううになりました。給食

でも、お茶碗ギリギリまでよそう友達に、負

けじとたが、りよそいます。

「そんなもん？」と挑発してくる友達。

づけばいつも競争のようになっていて、何人かであくさん余っている給食を減らし、いします。できる限り残食を減らして、農家さんへ調理員さんが丹精込めて作った給食を無駄にしないようにしたいと思います。

僕は部活後、いつも勝パコの状態です。家に帰ります。家に帰ると、チンに立って、ご飯を作っている母。ジューという音と共に、匂いが漂ってくるので、すかさず「今日のご飯何?」と聞きます。母が返事する前に「ライパンを覗き込もうとするので、今日は照り焼きチキンだよ。美味しそうでしょ?」というイパンの中のタレの染みだ。テカテカしている肉を見ると、食欲をそそられます。

シャワーを浴びた後には、夕飯は、さあがっていました。いち早く食べようと急いで髪を乾かして席に着きます。ただ、さすの合図とともに、僕はご飯を食べ始めました。ご飯と一緒に肉を頬張ると、自然と顔がほころびます。あ、という間にお米がなくなり、当

然、おかわりをしました。今は中々増えませんが、体重を増やそうと思っ
て、いるので、遠慮なくたくさん食べるようにしています。母は、美しい！
「や、おかわり！」と言うと決ま
てに「こり笑顔になります。」
僕は毎朝見るニョースでお米不足につ
いて知り、備蓄米とはどんなものか気になりま
した。味、香り、食感、甘さなど、どう違
うのか確かめるためにスーパーに売ってあ
った、
備蓄米を買いました。いざ食べてみると、
独特の香りがあり普通の米の方が美味し
かったです。僕は、当然のことなのに少し
がっかりしました。備蓄米は、味も少し違
うし、
「とだけパサパサしているように感じま
した。」
普段の米の美味しさを改めて感じながら
備蓄米を食べた後、
「ふと新米が食べたくなりました。」
「た。みずみずしく、ツヤのある新米。
そんな
新米を今、待ち望んでいます。」
新米の時期になると、
田植えをしたことを
思い出します。田植えをした時の僕は
まだ幼

く、記憶はおぼろげです。けれども、手で一本一本丁寧に植えていたこと、田の中で思いつきり石を踏んだこと、中々足が抜けずに苦勞したことなど、大変だったということは覚えています。また、頑張った後に、植え終えた田を見渡すと達成感があったことも印象に残っています。

皆さんにもぜひ、一度田植え体験をして欲しいです。その過程で農業について知り、お米について考える機会になればいいなと思います。日本には、地域ごとに様々な銘柄があります。その進化し続ける銘柄を大切にし、これからもたくさんお米を食べていきたいです。